

秋田市物価高騰支援給付金（不足額給付分）に係る調査回答要領

お忙しいところ、調査にご協力いただきありがとうございます。

下記をご一読いただき、回答をお願いします。

1 全般事項

●照会番号（A列）

同封した「別紙対象者一覧」の一番左の列にある「照会番号」を入力してください。

●当初調整給付算定自治体であるか否か（B列）

当初調整給付算定自治体である場合は「○」を入力してください。

算定自治体でない場合は、「×」を入力し、C列に貴自治体転入前の住所を入力してください。

2 当初調整給付の状況

●定額減税可能額（所得税）（D列） ●令和6年分推計所得税額（E列）

●定額減税可能額（住民税）（F列）

●令和6年度住民税所得割額（定額減税前）（G列）

※ 当初調整給付算定時点の情報を入力してください。

●当初調整給付所要額（1万円単位に切上げ後）（H列）

※ 支給したか否かに関わらず、当初調整給付算定時点の所要額を入力してください。算定時点で、合計所得金額が、1,805万円超だった場合等、対象外だった場合は「○」としてください。

●支給実績（I列）

支給した場合は「○」

対象外や辞退、未提出、期限後提出等で支給していない場合は「×」を入力してください。支給実績が「×」の場合で、確認書等が対象者へ未着だった場合は、J列に「○」を入力してください。

●令和6年度住民税 被扶養者（K列）

定額減税で引き切れている該当の被扶養者である場合は「1」、当初調整給付該当者の被扶養者である場合は「2」、「1」「2」以外の被扶養者である場合は「3」、被扶養者でない場合は「4」を選択してください。

●扶養者の合計所得金額（L列）

扶養者の合計所得金額が1,805万円を超える場合は「○」、超えない場合は「×」を入力してください。

●扶養者への調整給付実績（M列）

令和6年度住民税の扶養者が当初調整給付の対象だった場合は、所要額を入力してください。対象外だった場合は、「0」としてください。

3 令和6年度住民税課税状況

●所得割額（定額減税前）（N列） ●合計所得金額（O列）

●減税対象人数（P列）

最新の数値を入力してください。未申告者の場合は、すべて「0」としてください。減税対象者の場合は、定額減税前の所得割額を入力してください。減税対象人数は、国外居住者を除いた人数としてください。

●専従者（青色・白色）であるか否か（Q列）

調査対象者が、青色事業専従者または事業専従者（白色）である場合に「0」を入力してください。

●専従主の合計所得金額（R列）

調査対象者が、青色事業専従者または事業専従者（白色）である場合に、専従主の合計所得金額が1,805万円を超える場合は「0」を、超えない場合や不明の場合は「×」を入力してください。

4 低所得者世帯向け給付の状況

●令和5年度（または令和6年度）住民税非課税（または均等割のみ課税）世帯給付（7万・10万）の対象世帯主（世帯員）か（S列）

支給したか否かに関わらず、対象の世帯主または世帯員だった場合は「R50」または「R60」を入力してください。

●令和5年度（または令和6年度）住民税非課税（または均等割のみ課税）世帯給付（7万・10万）の支給実績（T列）

前項の回答が「0」（支給対象）だった場合のみ回答してください。

支給した場合は「0」、辞退や未提出、期限後提出等で支給していない場合は「×」を入力してください。

※その他、照会項目に対する特記事項がありましたら、U列の「備考」欄に内容を入力してください。